

教育実践 エビデンス (科学的根拠) が 証明する

1 子供の学力をグングン伸ばす学習システム 0 時間目のシナリオ

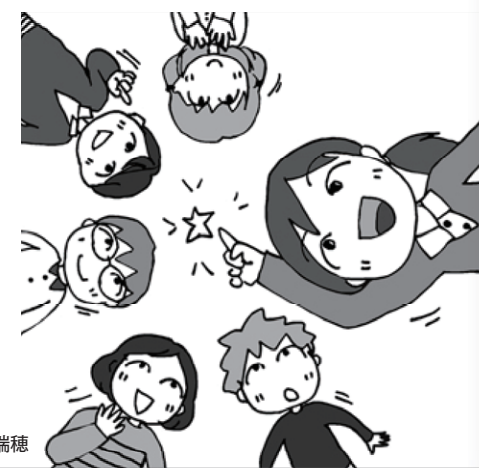
- | | |
|-----------|-----------|
| ①漢字テスト | ②算数市販テスト |
| ③算数のノート指導 | ④国語のノート指導 |
| ⑤国語授業びらき | ⑥算数授業びらき |
| ⑦社会科授業びらき | ⑧理科授業びらき |
| ⑨体育授業システム | ⑩絵画指導 |

2 エビデンスのある教材が 学力を伸ばす

- ①国語
- ②算数

3 安定した一年間は “黄金の三日間” で決まる

- ①授業びらきの「語りシナリオ」
- ②特別支援の子が変化するための布石
- ③全てのベースになる「授業技量」
- ④クラスが荒れ始める10のサイン



イラスト：渡邊瑞穂

1 黄金の三日間はなぜ大切なのか

クラスをまとめ、統率するためには、出会った最初の三日間が重要です。向山洋一氏はそれを「黄金の三日間」と名付けました。

黄金の三日間がなぜ重要なのでしょう。それは、この三日間が、その後の一年間の行方をほぼ決めてしまうからです。

- ①子供たちと教師のつながりの安定
- ②生活の安定
- ③学習の安定

腕のいい教師は三日間でこの三つをつくり上げてしまっています。

2 黄金の三日間——具体的なシナリオ

それでは、その「腕のいい教師」たちは、具体的にはどのように指導を進めているのでしょうか。

この特集は、具体的な発問・指示を、子供たちに言う言葉どおりにシナリオとして示すことで、全国の教室で同様の実践をしていただけることを狙いました。

うのか。

なぜ効果があると推定できるのか。それらは科学的に証明できるのか。そういったことを、数値で報告しなければ顧みられることはありません。向山型の指導法では、これまで数多くの数値的な報告がなされています。

(1) 毎回の平均点が九九点になる漢字テスト。

これは、「ゆび書き」をどう指導するかが導入の時間のポイントだろうと思います。

(2) 前の学年まで一五点、二〇点しか取れなかった子が七〇点、八〇点、時には一〇〇点を取り、クラスの平均点が九〇点を超える算数の市販テスト。

これは、「算数の教科書」を使ってどのように学習していくのか、ノートはどのように書かせていくのか、そういった

指導方法がポイントだろうと思います。

ところが、いまだに「算数の時間は教科書をしまわせなさい」などと指導する校長や指導主事がいると聞きます。

教科書をしまわせた肝心の「例題」を学ぶ部分がぐちゃぐちゃになってしまっています。エビデンスもなく感覚的に指導をしているように思えますが、そうだとしたらひどいことです。

算数の教科書をしまえという指導主事の先生には、その方法で「どんな子に、どのような効果が、どれくらいあったのか」を、ぜひとも数値で具体的に示していただきたいと思っています。

子供たちに学力を付ける教師は「黄金の三日間」から無駄なく布石を打っています。

その指導法の要点を、主要な教科の授業びらきで再度整理し、さらには、アクティブ・ラーニング、教材のユースウェア、出会いの語り、特別支援の対応術等々についても、決定版となる特集を企画しました。

(本誌編集長 谷和樹)

3 エビデンスを基にした指導を

欧米では、教育方法を導入するためには必ず「エビデンス」が求められます。どのような方法をとって、どのくらい成績が上がったのか。それは今までの方法と比べてどこが違

- 1 その方法でどんな効果があったのか、あるいはどんな効果が予想されるのか。
- 2 導入の時間の授業の進め方の「発問・指示」は、具体的にどのようなものなのか。
- 3 その後、半年くらいの間にどのようなことを取り入れるのか。その具体的な項目。

このような情報を共有することで、多くの先生方が、同様の指導を追究することが出来ます。

その結果をまた報告していただき、本当に効果があったかどうかを確かめることも出来ます。

欧米では、教育方法を導入するためには必ず「エビデンス」が求められます。

どのような方法をとって、どのくらい成績が上がったのか。それは今までの方法と比べてどこが違

第1時の授業で、算数への苦手意識を克服させる

授業の第一印象は、極めて大切である。意欲を持たせ、学習システムを体感させる。

石川県かほく市立高松小学校
奥本 翼

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ
②算数市販テストで平均が
90点になる学習システム
1時間目のシナリオ

例えば、「取り組ませる問題の難易度を下げる」

全員が、成功体験を味わえる場面をつくる。

授業を優先する方がよい。そのために、

結果、算数が嫌いになる。

第一時では「楽しさ」よりも「分かる」「できる」

2 「分かる」「できる」授業をする

算数は、「技能教科」である。体育や音楽と同じように、「できる」「できない」がはっきりする。算数のできない子は、失敗体験の連続である。結果、算数が嫌いになる。

このことを重点に置いた指導を展開する。なお、事前に前年度のまとめテストを行い、実態を把握していることを前提とする。

①成功体験を積み重ね、やる気を喚起すること。
②効果のある勉強法を体感させること。

1 第一時の授業のポイント

算数テスト平均九〇点を突破するためには、教師の指導力だけでなく、子供の自発的な努力が不可欠である。第一時の授業ポイントは次である。

話し合いをする算数授業では、必ずといっていいほど授業時間が延びる。チャイムが鳴れば、子供の思考もストップする。

「今年の先生は、時間を守る先生だ」ということを示しておく、子供はより授業に対して積極的になる。

3 教科書を使った勉強法を示す

「正しい努力の方向を示す」ことが大切である。教科書を使って授業をすることで、授業の流れが安定する。休んでいても、どこまで勉強が進んでいるかを把握しやすい。つまり、

学習の「見通し」を持つことができるのだ。

さらに、算数教科書は学習問題をクリアするための基本型が載っている。分からなくなったときに、教科書に立ち返るという学習原理を示しておくことも大切な指導である。

「つまりきやすい問題の前に助走問題を入れる」など、エラーレスで授業を進めていく。

何より重要なのは、次である。

授業を「時間どおり」に終えること。

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ
①漢字テストで平均99点
になる学習システム
1時間目のシナリオ

石川県かほく市立宇ノ気小学校
石坂 陽

最重要指導「ゆび書き」を第1時で効果的に指導することがポイントである

ここ3年間、担任する学級で漢字スキルのテストの学期平均点が99点を超えている。2学期、3学期には、99.8点という事実も生まれている。要因の一つに「ゆび書き」がある。ゆび書きは、新出漢字を正しくインプットするために非常に適した手立てである。第1時にゆび書きについて指導し、指導したことを4月、5月に繰り返し教え続ける。そうすることで、確実に漢字の定着率は高まっていく。

1 ゆび書きを体感させる

「川」という漢字を板書する。そして、宙に指を出させ、空書きをさせる。ここでは、「いち、に、さん」と声を出して書くことを指導する。そして「指を机に付けなさい。そのまま書きます。さん、はい」と指示を出す。書かせた上で、「これをゆび書きといいます」と告げる。

次に、「山」という漢字を板書する。ここでは、「いち、に、い、さん」と、曲がる部分、はねる部分を伸ばして唱えることを指導する。

さらに、爪先で書く「爪書き」や、指を弱々しく付けたゆび書きは、効果がほとんどないことも告げる。

こうすることで、ゆび書きとはどのようなものなのか体感させる。

2 どれだけゆび書きをするか示す

「何回ゆび書きをすればよいですか？」と質問が

挙がる。これは、回数ではない。「目を閉じてもゆび書きができるまでです」と告げる。目を閉じてゆび書きができれば、ほぼその漢字を覚えたといえるからである。

3 ゆび書きをスピーディーにさせる

なぜかは分からないが、ゆび書きのスピードが速い方が習得率が高い。逆に、漢字が苦手な子供は、ゆび書きのスピードが遅いことが多い。

できれば、前年度に担任した学級の「速いスピードでのゆび書きの映像」があれば効果的である。それを見せると、イメージ化がされるからである。

4 空書きは厳しくする

ゆび書きの後は、空書きである。これは、厳しくする。「男子で二人、女子で一人違っています」というように、である。こうすることで次回以降、その前段階のゆび書きを真剣にするようになる。

もちろん、第一時だけで、完璧になるわけではない。四月、五月は毎時間教え続ける必要がある。ここでの関心が年間を支えるものとなる。

視写で理想の 国語ノート作り

ノートをどうやって使うかを体験させながら、
理想のノート作りを具体的に指導していく。

東京都目黒区立鷹番小学校
戸村 隆之

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ

④国語の学習が安定する
ノート指導
1時間目のシナリオ

2 視写で良いノートのイメージ作り

基礎指導を行った後は、ノートの書き方の指導
である。

国語教科書の最初は、詩が掲載されている。こ
の詩の視写をさせながら、ノート指導を行って

1 ノートを書かせる前の指導

国語の最初の授業に行うべきノート指導は二つ
ある。

一つは、ノートを書く前の基礎指導である。
ノートに名前を書く。下敷きを使う。鉛筆の濃
さ。鉛筆の持ち方。文字の大きさなどを具体的に
指導していく。高学年でも、一年生に行うよう
に一つ一つ丁寧に指導していく。

四年生時に下敷きを使っていない、文房具がそ
もそもそろっていいない状態の子が多い、五年生の
クラスを担任したことがある。高学年だからでき
るだろうと思っただけではない。四月最初の授業だ
からこそ、どの学年でも丁寧に指導していくこと
が大事である。

最初の指導が一年間を決める。ノートを使う前
にしっかりと時間を取って指導する。

1 シンプルで力強い趣意説明

「お勉強ができる子は、誰でもノートがきれいで
す。きれいなノートの書き方を教えます」

「きれいなノートを書くには、道具が必要です」
板書 ①えんぴつ (2B〜3B)

②ミニじようぎ ③赤えんぴつ

「シャープペンはポキポキ折れるので禁止です」
「赤ボールペンはノートが汚れるので禁止です」

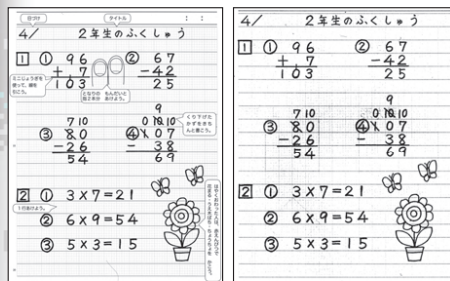
2 ノート作業を通して教える

「これがきれいなノートのお手本です」(学年別
ノートのスキルを印刷して配付する)

■きれいなノートを書くコツ1 「マスに一つ
数字を書きます」

(TOS ノートな
らマスが薄く書いて
ある。濃すぎるマス
は窮屈な感じがする)
日付を書かせて、
チェックする。

■コツ2 「数字を書
くときは、一画一画
止めます」



サツサツと書きなぐる子は、線を止めない。計
算を一回書かせてチェックする。

■コツ3 「線を引くときはミニ定規を使います」
ミニ定規を使いこなせれば、ノートがきれいに
なり、簡単なミスをしなくなる。テストの平均点
が一〇点はアップする。

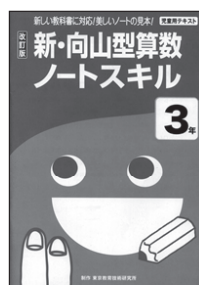
■コツ4 「問題と問題の間は、ゆつたり空けま
す。隣は、指二本分空けます。上下も二行くらい
空けます」

ここまでを、ノートのスキル計算問題を四問程度
書かせてチェックする。自分でチェック、お隣さ
んとチェック。一回だけ教師がチェックする。

個人差がある。早く終えた子には、花丸・ちよ
うちよを描かせる。色も塗らせる。実は、花丸・ちよ
うちよも「丁寧度チェック」になる。

「丁寧になぞること、色を塗ることも、算数の力
なのです」

きれいなノートを、たくさん褒めよう。「新・
向山型算数ノートスキル」は、教えて褒める教材
である。



(新・向山型算数ノ
トスキル)は東京教
育技術研究所から購
入できる)

次のことを指導する。

①毎時間、日付を書く

国語に限らず、ノートには日付を書くように指
導する。原則、その日の授業は前のページが余っ
ていても、新しいページに書くようにすることも
教える。

②題名で個別評定

「詩の題名と作者を書いたら、先生の所に持って
来なさい」と指示して、一人ずつ個別評定する。
文字の大きさ(マスや行からはみ出さず、小さ
すぎないか)、鉛筆の濃さなど基礎指導で教えたこ
とが守られているかチェックする。A(きれい)、
B(合格)、C(不合格)の観点で短く評定して
いく。Cの子には、隣の行にもう一度やり直しを
させる。評定の前に子供に「不合格ならやり直し」
ということ伝えておかなければならない。

合格の子には、詩の本文を書かせる。書かせる
前に全体で一行空けの確認をする。連と連の間は、
ノートに書くときにも一行空けるように指示する。
視写の前には、音読指導をしているはずなので、
その際に確認しておくとい。

最後のチェックは全員がA、何人かはAA(と
ても丁寧)になるように授業を組み立てていく。

埼玉県皆野町立皆野小学校
木村 重夫

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ

③算数の学習が安定する
ノート指導
1時間目のシナリオ

「新・向山型算数ノ トスキル」を使えば、 シーンと集中させて ノート指導ができる

ノートのスキルは「ノートの書き方」を教えて、
いっぱい褒める教材。最初に、きれいなノートの
イメージを全員にもたせよう！

教師の算数トークで、 子供は算数が好きになる

算数エピソードも、向山型算数のパーツだ。
子供は知的な話が好きである。

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ

⑤子供熱中！ 知的で
「算数大好き」になる
授業びらきの発問・指示

山口県下関市立川棚小学校

はやし たけひろ
林 健広

毎年、向山洋一氏の算数エピソードを追試している。四年生のT.Tで授業をしていた九月二十日。単元は小数である。

人類の歴史はずうーっと、長い。でも、地球の歴史から考えると、これっぽっちくらいです。

向山氏は、恐らく板書しながら、地球の歴史と人類の歴史を書いている。そして「一対一対応」「ゼロの三つの意味」へ進んでいく。

このような話をする、子供たちは一気に算数の世界に引き込まれていく。熱い視線が、教師に向く。四月最初の日から、子供は算数が好きになる。保護者から「先生が算数で話した話を、うちの子が家でもしてくれました」という手紙をもらったこともある。

ある年の授業びらきでは、次のエピソードを話した。三年わり算だ。教科書どおり授業をして、五分程度余った。「÷という算数の記号を習いました。一年生のときはどんな記号を習いましたか」「＋、－ですね」

「という記号は、どのようにしてできたのでしょうか？」

1

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ

⑤子供熱中！ 知的で
「国語大好き」になる
授業びらきの発問・指示

福島県喜多方市立駒形小学校

ねもと なおき
根本 直樹

教科書の扉の詩は、明るい詩が多い。元気に読めた子供を褒める。

これが「伏線」になる。

さて、国語の授業では「正しく読む」ことが何よりも重要なことだ。

いつもいつも「元気に」読めばいいわけではない。文章の記述に即して読むことは、学習しなければできるようにならない。

例えば、次の場合である。

「うん、寒かったね」とささやいています。

ささやくように読むのが「正しい読み方」である。

しかし、子供たちは、そうは読まない。

元気に読むのである。

扉の詩で褒められているから、なおさらである。

みんな上手なので、点数を付けます。

挑戦させて、個別評定をする。

二点、二点、三点、二点……

子供たちはキョトンとしている。

国語が得意な子供ほど、「何かがおかしい」という顔をする。

そこで、小さな声でしか読めないAさんを指名する。

「うん、寒かったね」

「九点！」高らかに評定する。

驚きの声があがる。

また挑戦するが、五点止まり。

再度、Aさんに読ませる。

「分かった！」

今度は気が付く。

高得点を取れる子が増えたところで、問う。

秘密が書いてある。線を引きなさい。

こうして、正しい読み方は文章に書いてあるという「コード」を、逆転現象によって獲得する。

「ささやく」「悲しそうに」などの表現が出てくる文章で活用できるようにする。

言葉に気を付けて読むようになっていく。

「遠い昔、船に乗り、大海原へ旅に出ました。長い長い旅です。みんななら、船に何を乗せますか」四月最初の授業だ。手を挙げて答えた子供をうんと褒めた。「こういうときに、自分の意見が言えるのが偉い！」「水がもちろん必要です。たるに水を入れます」

たるの絵を書く。

「水をここまで飲みました。大事な大事な水だ。一日どのくらい飲んだか記録しなくちゃいけない。一とたるに線を引く。次の日。また水を飲む。また一と線を引く」

「そうだそうだ！ そこから一ができたという説がある」

少し間をおいて、「でも、もう一つ説がある」

「一は、マイナスともいう。英語でmから始まる。mを急いで書く。更に急いで書く。更に更に急いで書く。あれ？ そう、一になったという説だ」「みんなは、どちらの説に賛成ですか？」

子供たちは、口々に発表した。

「そうか、ぜひ家に帰って、おうちの人も相談してごらんさい」と言って、授業を終えた。

科学者が真理を追究するときと同じ授業をする

ブラックボックスの中の様子を実験から推論させる。根拠に基づいて自説を発表し、相手を納得させる。クラスで合意したことが真理となる。

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ

⑧アクティブ・ラーニングで
「理科大好き」になる
授業びらきの発問・指示

日本理科教育支援センター

小森 栄治

ブラックボックスという教材がある。班に一個用意する。ナリカでは木製のものを販売している。

指示1 この箱を開けることはできません。中がどうなっているか、何が入っているか、自分で考えた方法で調べ、紙にかきなさい。

使いたいものがあつたら、許可を得て使わせる。向きを変えたときに中のものが動く音、磁石を近づけたときの反応など、様々な方法で調べる。班の中で意見を出し合い、予想図をかかせる。

指示2 予想図を見せて、なぜそう判断したか発表しなさい。

指示3 発表を参考にもう一度調べて、予想図をかきなさい。

予想図が二種類に集約されていく。



写真提供:神奈川県 百武三郎氏

ブラックボックスは開けない。将来、ほかの実験で新しい情報が得られたときには、真理が変わることもある。それが科学の世界で実際に起きていることなのだ。

説明 今、皆さんが行ったことは、科学者が真理を追究するときと同じです。箱を開けて中を見ることはできません。でも、根拠に基づいた推論で、クラスのみんなが同意したことが、現時点の真理となるのです。



デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!



子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ

⑦アクティブ・ラーニングで
「社会科大好き」になる
授業びらきの発問・指示

福岡県太宰府市立水城西小学校

赤坂 勝

多くの調べ方を体得する授業びらき

「○○について調べてきなさい」と言っても、多くの子は動かない。調べ方を知らないからだ。4月だからこそ、年間を通して身に付けさせるべき「調べ方」を、具体的に経験的に体得させる。

あらゆる資料を使って調べることを体得させる

まず、ざっと教科書で単元を概観させた。目次・タイトル・見出し・写真や資料の表題などを読ませた。そして、最初の単元の全てのページをパラパラと読ませ、分からないことや知りたいことを書き出して、問題作りをさせた。

その後、ノートに書いた問題を黒板に書かせた。私のクラスでは、

- ・日本が一番にぎやかな都道府県はどこか。
- ・日本が一番遠い島はどこか。
- ・日本で一番大きな県はどこか。

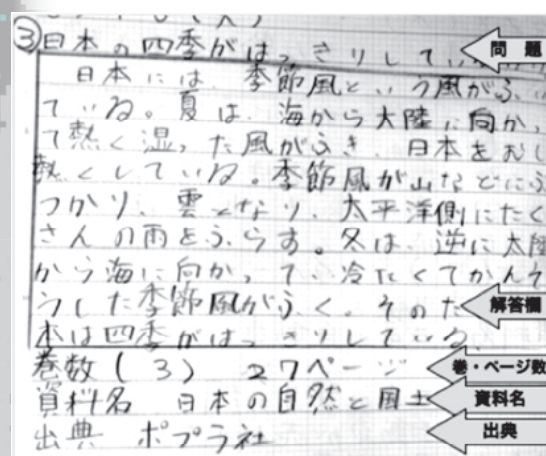
「この中で、このままでは調べようがないものはありませんか」と問うと、一人の子が「にぎやか」とはどういうことなのかと言った。「人口が多い」とか、「何かの交通量が多い」とか、具体的な指標が必要である。このように曖昧な言葉を一つ一つ明確にした。

次に、教科書や資料集など、手持ちの資料を見れば分かるものは、その場で調べさせた。その際に、何ページを見れば分かるかも書かせた。地図帳の巻末統計などから答えを見付けてきた子を、特に褒めた。

しかし、教科書、資料集、地図帳などを見ても分からない問題もある。「どうすればいいか」と聞くと、「図書室に行けばいい」と答えるので、図書室で調べさせた。百科事典や年鑑などを使って調べている子を、特に褒めた。

このようにして、具体的に調べる方法について学ばせた。

なお、ノートには、問題・解答欄・巻ページ数・資料名・出典を書き込める欄を、あらかじめ作らせた。これも年間を通して使えるフォーマットである。



子供たちは、最後まで意欲的に調べ活動続けた。



デジタル版 DIGITAL
カラー画像を見ることができます!



図工の授業びらきは、1年間の 図工へのモチベーションづくり として重要である



自己肯定感向上のためにも大切である。
だから、絶対成功するシナリオが必要である。
詳しくは、拙著『ドーンと入賞！ 物語文の感想画、
描き方指導の裏ワザ20』（学芸みらい社）をご覧ください。

山口県下関市立檜崎小学校

かわ た たか ふみ
河田 孝文

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ
⑩どの子どもも満足する「絵画指導」
の基本 子供の期待が高まる
1時間目のシナリオ

一 自画像が図工への期待感を増幅させる
年度初め一発目の図工は、自画像である。自画像指導の最大にして唯一のテーマは、「絶対全員成功」である。全員が満足する作品を完成させなければならぬ。絵画の成功作品は、子供の自己肯定感を上げる。「うまい絵が描けた」という事実が目の前にあるからである。

二 自画像成功への道① 笑顔の個人写真撮影
第一歩は、笑顔の個人写真を撮ることである。カメラを向けられた子供は、なかなか笑わない。そこで工夫。

1. カメラの背後に笑わせ隊配置
子供は、黒板を背景に撮影する。撮影者は、担任。その背後にクラスのお調子者を立たせる。そして、「笑わせて！」と指示する。笑わせ隊は、機動力を駆使して被写体を笑わせる。九割の子は、大笑いする。腹を抱えて笑う子多数。一方強者もいる。なかなか笑わない子である。しかし、笑わせ隊のおかげで、クスツとする瞬間がある。そこを捉えるために、次の手立てが有効となる。

2. カメラは連写モード
個人写真撮影は、デジカメ連写モードにしておく。被写体をカメラの前に立たせたら、シャッターを押し続ける。これで、クスツとした瞬間の子供

の笑顔ショットをゲットできる。連写モードの個人写真は、一人当たり二十枚くらいだろうか。テラ容量時代である。最高画質二十枚×人数分＝数百MBなんて大したことはない。これで、全員の笑顔を手に入れることができるなら軽いものだ。

三 自画像成功への道② 自分の顔をなぞる
厳選個人写真を白黒でプリントアウト（A4）し、配付する。それを、油性マジックでなぞっていく。自分の顔をトレースするのだ。教師も、自分の顔をプロジェクターで黒板に投影し、一緒にやる。トレースの順序は、酒井式である。鼻↓目↓眉↓口↓輪郭↓耳↓髪↓微修正↓服の順に自分の顔をなぞっていく。

四 自画像成功への道③ 自分の顔を写す
個人写真のトレースを画用紙（八切り）に転写していく。原則は次のとおり。（1）一部をなぞる（例：鼻筋）、（2）画用紙の一部を写す、（3）（1）↓（2）を繰り返す。

五 自画像成功への道④ 彩色
彩色の原則は、（1）水を多め、（2）塗るときは水気を取る、（3）筆を立ててトントン塗り、（4）乾いてから重ね塗り。彩色は、「色を置く」と表現する。これで彩色の失敗は激減する。もちろん支援は必要だ。

向山式跳び箱指導法 「95%」を調査しよう



体育指導では「できない子をできるようにする」指導と、「できたつもりになっていることに気付かせて、力を引っ張り出す」指導が大切である。

茨城県水戸市立浜田小学校

くわ ぼら かず ひこ
桑原 和彦

子供の学力をグンぐン伸ばす
学習システム 0時間目のシナリオ
⑨どの子どもでもできるようになる
「体育授業システム」のつくり方
1時間目のシナリオ

体育授業の導入には、「向山式跳び箱指導」が最適である。できない子をできるようにするという事実を生み出すことは、一年の体育指導の根幹となるからである。

跳び箱を跳ばせるためには、腕を支点とした体重移動を体感させればよい。その体重移動の方法が、向山式跳び箱指導（A式・B式）である。この方法でやれば、ほとんどの子は跳べるようになる。向山洋一氏は「九五％は超える」と言っている。実践すると分かるが、衝撃的な指導法である。跳んだ子供も、跳ばせている教師自身も魔法にかかったような衝撃が体を駆け巡るのだ。

跳び箱を実際に跳ぶ前に、取り組んでほしい事項がある。ケンパーである。子供が「ケンケンパー」と言いながら、ケン・ケンで片足跳びをして、パーで両足を開いて着地する。このように、指示どおりの動きができるかを試す運動だ。次いで「ケンケンパーケンパー」「ケンパーケンケンパー」「ケンケンケンケンパーケンパー」のようにテンポ良く畳み掛けていく。リズムカルに動ける子もいるが、ぎこちない動作の子もいる。これは、

協応動作を調査している。

そして、これがエビデンスとなる。「跳び箱が跳べない子はケンパーができないこと」や「その子たちの多くが発達上の大きな課題を持っていること」などの発見につながる。ケンパーの実態調査が跳び箱成功率につながるかを検証できるのだ。次に、跳び箱指導に入る。学年マイナスイメージが高い。ちなみに三年生以上の実践が望ましい。低学年に無理に跳ばせる必要はないからだ。開脚跳びを一人ずつ行い、跳べる跳べないに分ける。跳べた子は、きれいに跳ぶフォーム作りなど、課題を与え、取り組ませる。

そして、向山式跳び箱指導。必ず、向山洋一氏の著書を読んでほしい。

この向山式跳び箱指導で、「できるようにになった子の人数」や「指導に掛かった時間」といった数値がエビデンスとなる。ぜひ挑戦してほしい。この後の指導は、跳び方をきれいにしていく内容とする。

- ・走り出しの指導（息を吐いて出発）
- ・踏み出し足の指導
- ・着手の指導
- ・着地の指導

これらをきれいに跳べていると思っている子供に評定をしていく。これは、跳べるようにすることと同様に重要な指導である。

